

2022年2月14日
 株式会社新出光

多様な働き方に対応 BCP 対策も！
 本社ビルリノベーションを実施！働きやすいオフィス環境の実現へ

株式会社新出光（本社：福岡市博多区上呉服町1番10号 代表取締役社長 兼グループCEO：出光泰典）は、本社ビル全フロアのリノベーションを行い、このほど竣工祭を開催いたしました。

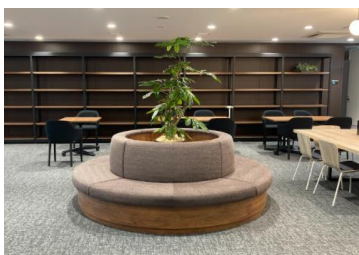
当社はかねてより社員の働きやすさと生産性を向上させることを目的として、リノベーションプロジェクトチームを発足し検討を進めて参りました。この間、新型コロナウイルス感染発生・拡大しましたが、前向きに捉え、当社ビルの安全性向上対策として、「非接触」「換気能力」を強化し、テレワークを浸透させ、社員の健康を守ることを優先しました。また、フリーアドレスを採用し、社員が目的に応じて効率よく働く場所を選べるように、個人ワーク専用の集中ブースやグループワーク、ウェブ会議用の防音スペースなどを新設しました。社員同士の部門を超えたコミュニケーションの活性化により、新たな価値を創造する環境を整える為、カフェエリア、リフレッシュコーナーの設置や部署間の壁を取り除いたオープンフラットな執務エリアを実現しています。屋上には機能性を向上させダウンサイズした非常用発電機や貯水槽を更新設置し、災害時対応強化も行っています。

本リノベーションとあわせてペーパーレス化の活動も進めており、保有書類を50%削減するという目標を達成。現在電子ファイリングにも取り組んでおり、さらに社員の生産性向上につなげています。

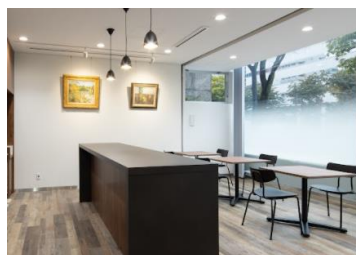
■オフィスコンセプト

“Open Flat StressFree”

開放的で、フラットな関係、ストレスなく仕事ができるオフィス空間に生まれ変わりました。



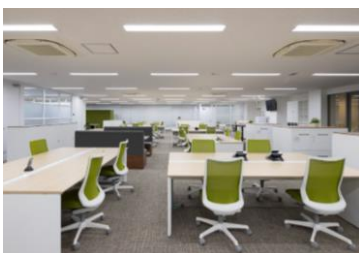
ソファ席などを完備した共有スペース



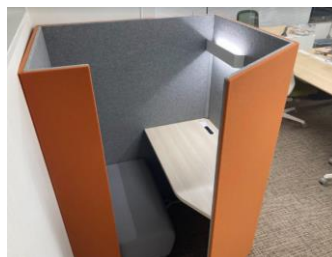
リフレッシュ空間・カフェスペース



ラウンジスペース



ワンフロアで明るい執務エリア



個人集中ブース



防音スペース

“環境に配慮した温かみのある受付”

当社グループ会社の新出光不動産株式会社が所有する熊本県八代市にある山林から100年杉を切り出して受付カウンターを造作し、設置しています。

これは二酸化炭素の固定化や資源の再利用をするというグループの社会貢献活動の象徴です。

受付カウンターに使われております『大川組子』は伝統的な和柄である麻の葉を模したものであり、背面の立体組子を見る角度によって表情を変える、職人の手作業が為し得る『大川組子』ならではの作品です。木の温かみのあるデザインが特徴となっています。



受付



“BCP 対策強化の安心設計”

当社屋上にはコンパクトで機能性のある非常用発電機へと更新し、非常時における本社機能継続を可能としています。貯水槽も災害時対応として1.5日分の給水を可能としました。併せてビル内の耐震補強を実施しました。

当リリースに関するお問合せ先

株式会社新出光 広報担当 谷口・下門 電話:092-291-4134

以上